



取り付けはバッテリーの+と-に赤・黒の配線をつなぎ、銀のバネ線をボディアースするように接続するだけ。本体は付属のマジックテープで取り付け。今回は海泊いなので強力なヘビーデューティータイプを取り付けた。作動確認用のLEDが橙色に点灯する。

本体はタバコの箱くらいの大きさで、薄型だから装着スペースも確保しやすい。電力が低下すれば自動的に停止するので安心。



●機能：12ボルト全車種対応、作動確認用LEDランプ付、オートプロテクト機能付、防水タイプ



電子作用でボディ全体をガードしてくれるから、下まわりなどサビに気付きにくい場所も心配なし。もちろん防水タイプだ。銀色の線はボディ下をはわせて、付属のタイラップでとめた。

日本の自動車平均寿命が短いのは環境が要因 サビ防止対策は必須!



実は日本の自動車平均寿命は欧米などに比べて、洗車好きであるにも関わらず、短いという調査結果が。これは日本特有の厳しい環境のせいで、礫石でこすった下まわりやジャッキポイントなどのちょっとしたキズから、ボディへと腐食が広がりがち。小さなサビがあったら、あっという間に広がる。

To-FiT ラストストッパー 電子式サビ防止装置

☎ ツーフィット ☎ 045-253-7945 <http://www.to-fit.co.jp>

取付簡単。あなたの 軽トラをサビから守る!

潮風や融雪剤が原因の塩害に酸性雨、PM2.5に鉄粉、台風や梅雨……。日本の環境は実はクルマのボディにとっては過酷。ゆえに放っておけば、見えない場所からいつの間にかボディが腐食してサビついてしまう。なんていうケースも珍しくはない。そんな愛車の大敵であるサビを、バッテリーについておくだけで防止してくれるのがこの電子式サビ防止装置、ラストストッパーだ。実はこれ欧

米では、昔から揚げたやパイプラインなどで用いられている。電位差を利用して金属の酸化を抑制するという理論を応用したもので、つないでおくだけでこの電子作用が働くから、ボディ全体がサビにくくなるというスグレモノ。電気障害やバッテリー上がりへの対策も万全。板金塗装より、何より価格がリーズナブルなのも魅力。海泊いや降雪地帯などで働く軽トラには、絶対の必需品だ。



見た目キレイな軽トラも サビは始まっている

こんなにきれいな軽トラも下まわりのサビが始まっている。荷物の積み下ろしによる塗装のハガレやシャーシやボディの継ぎ目のサビ、最初はどれも小さいものなのだ。

サビは水と乾燥でどんどん広がる

サビの実験写真



サビの広がりを比較する実験を行った。定期的に潮水をスプレーしたところ、写真のような違いに。サビの進行の早さをあらかじめ知ることができた。



荷台の塗装のサビ



シャーシの継ぎ目のサビ